

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2005-287951(P2005-287951A)  
 【公開日】平成17年10月20日(2005.10.20)  
 【年通号数】公開・登録公報2005-041  
 【出願番号】特願2004-110141(P2004-110141)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Q

A 6 3 F 5/04 5 1 2 J

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月26日(2008.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筐体に形成されたメダルの投入口から筐体内のメダル通路に進入した、不正行為に用いられた異物を捕捉するための異物捕捉手段と、メダルが投入口から投入され、媒体通路を通過して所定位置を通過するとき、メダルの通過を検知して検知信号を発するメダル検知手段と、該メダル検知手段からの検知信号により、メダルの投入枚数を計数する計数手段と、を備えた遊技機であって、

前記メダル通路の一の通路面および当該一の通路面と対向する他の通路面には、複数の線状突起をメダルの通過軌跡に沿って並列に形成し、

前記異物捕捉手段は、一端部が前記メダル通路の入口側の一方の通路面に取り付けられ、他端部が可撓性の櫛歯状部材からなるとともに、当該櫛歯状部材の櫛歯の幅は、前記複数の線状突起間の幅と略同一かまたは小さく形成され、メダルまたは異物が進入していない状態で前記他の通路面に形成された線状突起間に当接し、

前記メダル通路に進入した前記異物を引き出すときに、前記櫛歯状部材の他端部によって前記異物を掛止するように構成していることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機は、筐体に形成されたメダルの投入口から筐体内のメダル通路に進入した、不正行為に用いられた異物を捕捉するための異物捕捉手段と、メダルが投入口から投入され、媒体通路を通過して所定位置を通過するとき、メダルの通過を検知して検知信号を発するメダル検知手段と、該メダル検知手段からの検知信号により、メダルの投入枚数を計数する計数手段と、を備えた遊技機であって、メダル通路の一の通路面および当該一の通路面と対向する他の通路面には、複数の線状突起をメダルの通過軌跡に沿って並列に形成し、異物捕捉手段は、一端部がメダル通路の入口側の一方の通路面に取り付けられ、他

端部が可撓性の櫛歯状部材からなるとともに、当該櫛歯状部材の櫛歯の幅は、複数の線状突起間の幅と略同一かまたは小さく形成され、メダルまたは異物が進入していない状態で他の通路面に形成された線状突起間に当接し、メダル通路に進入した異物を引き出すときに、櫛歯状部材の他端部によって異物を掛止するように構成していることを特徴とする。